

授業計画案

Lesson 6 Thomas the Tank Engine and SDGs

●指導と評価の計画 (8 時間)

時間	ねらい・学習活動・指導上の留意点	単元の評価基準	評価方法
1 2 3 4	<p>Part 1 ～ 4 [ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> 『きかんしゃトーマス』とはどのようなアニメなのか、国連とどのように協力したのかを読み取らせる。 SDGs とは何か、どの目標が『きかんしゃトーマス』に組み込まれているのかを理解させる。 SDGs のどの目標をどのようにトーマスの物語に織り交せているのかを読み取らせる。 『きかんしゃトーマス』が最初に作られた頃からの時代の変化と子どもたちに与えている影響について読み取らせる。 <p>[学習活動]</p> <ul style="list-style-type: none"> 新出語句の確認をする。 文法事項の確認をする <p>[各パートで学習する文法事項]</p> <p>Part 2: 関係代名詞 what</p> <p>Part 3: 強調構文 It is ... that ～</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文の内容および背景知識を学習し、音読や内容理解の問題、Retelling 等の活動を通して理解を深める。 <p>[指導上の留意点]</p> <ul style="list-style-type: none"> イラストや写真、音声の効果的に活用する。 学習の形態(個人、ペア、全体)を工夫する。 	<p>知識・技能(L・R)</p> <p>思考・判断・表現(L・R)</p> <p>主体的に学習に取り組む態度(L・R)(I・P・W)</p>	<p>単語・連語小テスト</p> <p>リテリング用ワークシート</p>
5	<p>Comprehension [ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> 空所補充の質問を解かせ、本文の内容を復習する。 本文全体の要約文を完成させる。 <p>[学習活動]</p> <ul style="list-style-type: none"> 空所補充の問題に取り組みながら本文の内容を復習する。 要約文を完成させる。 <p>[指導上の留意点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアで解答を確認させる時間を設ける。 Lesson 全体および各 Part の要点を押さえられているかを確認する。 	<p>思考・判断・表現(L・R)</p> <p>主体的に学習に取り組む態度(L・R)</p>	確認テスト

FLEX ENGLISH COMMUNICATION I

6	<p>[ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞 what の使い方を理解させる。 強調構文 It is ... that ～ の使い方を理解させる。 <p>[学習活動]</p> <ul style="list-style-type: none"> 例文を確認する。 文法事項を使った問題を解く。 文法事項を使って活動をする。 <p>[指導上の留意点]</p> <ul style="list-style-type: none"> 例を実践して生徒がスムーズに活動できるようにする。 	<p>知識・技能(I・P・W)</p> <p>思考・判断・表現(I・P・W)</p>	パフォーマンス
7 8	<p>Final Task, Rapid Reading [ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> グループで SDGs を取り入れた寸劇を作成し発表することで、身の回りの環境と SDGs との関係について理解させる。 速読してから True or False を解くことで全体の内容の理解を深める。 <p>[学習活動]</p> <ul style="list-style-type: none"> SDGs を一つ選びグループで寸劇の原稿を作り発表する。 Rapid Reading を行い、True or False の問題を解く。 <p>[指導上の留意点]</p> <ul style="list-style-type: none"> グループで選んだ SDGs について調べさせる時間を設ける。 各グループの発表の評価基準を明確にする。 	<p>思考・判断・表現(L・R)(I・P・W)</p> <p>主体的に学習に取り組む態度(L・R)(I・P・W)</p>	<p>パフォーマンス</p> <p>予習&授業ノート</p>

授業計画案をテキストデータで収録しました。
指導手順や留意事項を端的にまとめています。

観点別評価規準案

観点別評価規準（案）

観点	Part・Task	評価規準 (L: 聞く / R: 読む / I: 話す (やり取り) / P: 話す (発表) / W: 書く)
知識・技能	Part 1~4	<p>【知識】 関係代名詞 what・強調構文 It is ... that ~の用法や決まりに関する事項を理解している。</p> <p>【技能】 (L) 教科書本文の音声聞いて、本文中の関係代名詞 what・強調構文 It is ... that ~が使われた英文の意味を把握する技能を身につけている。 (R) 教科書本文を読んで、本文中の関係代名詞 what・強調構文 It is ... that ~が使われた英文の意味を把握する技能を身につけている。</p>
	G&E	<p>【技能】 (W・P) 関係代名詞 what を用いて「無人島に持っていくもの」について書き、それを発表する技能を身につけている。 (I・P) 強調構文 It is ... that ~を用いて週末の過ごし方についての会話を即興で作成し、それをペアで発表する技能を身につけている。</p>
思考・判断・表現	全体	<p>(L・R) 「国連の定めたSDGs」「トーマスの物語に人生の教訓を組み込む意義」の内容を理解できる。 (I・P・W) 理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝えることができる。また、本文から学んだ「国連の定めたSDGs」「児童用の本やテレビ番組の物語に人生の教訓を組み込むこと」について自分なりに意見を持ち、それを表現することができる。</p>
	Part1	(L・R) トーマスの物語とSDGsが組み込まれた経緯を本文から理解できる。
	Part2	(L・R) SDGsの内容と意義を本文から理解できる。
	Part3	(L・R) SDGsを組み込んだトーマスのエピソードについて本文から理解できる。
	Part4	(L・R) 子どものテレビ番組に人生の教訓を盛り込む意義を理解できる。
	G&E	(I・P・W) 関係代名詞 what・It is ... that ~を使って、指示に沿った適切な英文を書いたり、自分の考えを表現したり、相手に伝えたりすることができる。
	Final Task	<p>(I) 興味のあるSDGsについて自分の意見や考えを、学び得た語彙や表現、情報を基に表現し、即興で相手に伝えることができる。 (P・W) やり取りの内容を踏まえ、改めて自分の意見を発表したり、書いたりできる。</p>
主体的に学習に取り組む態度	全体	<p>(L・R) 国連が定めたSDGsの内容や、それを取り入れたトーマスの物語を自ら理解しようとしている。 (I・P・W) 本文から学んだ自分を取り巻く「社会」や「環境」の問題について自分なりに意見を持ち、積極的に発信しようとしている。</p>
	Part1	<p>(L・R) トーマスの物語とSDGsが組み込まれた経緯を読み取ろうと努めている。 (I・P・W) 本文の内容を自分なりに理解して、リテリングしようとしている。</p>
	Part2	<p>(L・R) SDGsの内容と意義を理解しようとしている。 (I・P・W) 本文の内容を自分なりに理解して、リテリングしようとしている。</p>
	Part3	<p>(L・R) SDGsを組み込んだトーマスのエピソードについて理解しようとしている。 (I・P・W) 本文の内容を自分なりに理解して、リテリングしようとしている。</p>
	Part4	<p>(L・R) 子どものテレビ番組に人生の教訓を盛り込む意義を理解しようとしている。 (I・P・W) 本文の内容を自分なりに理解しようとしている。</p>
	Final Task	<p>(I) 興味のあるSDGsについて表現し、即興で相手に伝え、 (P・W) 他の生徒の意見も取り入れようとしている。</p>

観点別評価規準案をテキストデータで収録しました。4技能5領域の学習目標をPartやタスクごとに、3つの観点でまとめました。